**令和三年度　　学力向上を図るための全体計画**

１７．練馬区立北町西小学校

**地域・保護者の期待や願い**

・前向きに生活する　・挨拶や言葉遣いを正しくする

・思いやりをもつ　　・規則やきまりを守る

**学校教育目標**

自らをみがき　学び合う子

 思いやりがあり　助け合う子

 心と体をきたえ　やりぬく子

**関係法規**

日本国憲法 教育基本法 学校教育法など

**東京都教育目標**

**練馬区教育目標**

**学習指導要領など**

**各教科の指導の重点**

・各授業のねらいを具体的かつ明確に児童に示す。また、本時学習の導入で既習事項の確認の時間を設ける。

・個々の児童の実態に即した指導を行い､学習の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。

・今年度の内容を確実に学習させる。そのために、課す家庭学習の内容を精選する。

・児童の学習意欲を高め思考力を育てるために、児童が自分の考えをもって参加できる指導を行う。問題解決学習や体験的な学習を重視する。

**道徳教育の指導の重点**

・豊かな心をもち、自分で正しく判断し行動できる児童を育てるため、児童の内面に根ざした指導を強化する。

・児童が自己を見つめ、他とのかかわりを学ぶことのできる道徳の時間の充実に努める。様々な場面で道徳教材の活用を図る。

・日常の道徳指導を通して児童の自己肯定感を高める。

・心身ともに健全な児童を育てるため、保護者や地域の人との連携協力を深める。

**学力向上にかかわる学校経営方針**

・年間授業時数を確保する。現行学習指導要領に基づき、基礎基本の確実な定着を目指す。また、日々指導法や指導体制を見直し、組織力の向上に努める。

・個の発達に照らし合わせた学習支援に努める。

・保護者や地域の人の学校教育への参画を積極的に進め､教育活動を改善､発展させ心身ともに健全な児童を育成する。

本校における「定着させたい確かな学力」

自己の変容を振り返り、主体的に学ぶ態度

ねらいを明確にした授業実践

９年間を見通した教科指導

**外国語、外国語活動の指導の重点**

・外国語に慣れ親しみ、主体的にコミュニケーションを図る態度を育成する。

・授業のねらいを明確にし板書する。

・話す、聞くに加えて外国語においては、読むこと、書くことにも慣れ親しむことができるようにする。

思考力

判断力

表現力

主体的に学習に取り組む態度

**総合的な学習の時間**

・自分で課題を発見し、主体的に解決しようとする児童を育てるため、学校や地域の素材、地域の人材等を積極的に活用した学習を行う。

・学び方や考え方を身に付け、自分の生き方を考えられる児童を育てるため、各教科等との関連を深め、横断的・総合的な指導の充実を図る。

・緊急事態宣言の発出等で活動が制限されることを見越し、実施時期や内容を臨機応変に判断する。

知識・技能

**特別活動の指導の重点**

・多様な他者と協働しながら、話し合いや合意形成、意思決定を行う経験を、児童が主体的にできるようにする。

・自主性や協調性を高めるため、児童の興味や関心に応じたクラブ活動の時間を確保する。※緊急事態宣言下では見送る

適切な生活習慣・家庭学習習慣の定着

**生活指導の重点：「あいさつができる、時間を守ることができる」**

・けじめがあり、明るく楽しい学校生活を送る児童を育てるため、基本的な生活習慣やマナーを身に付けさせる。保護者・地域と連携・協力を深め、児童一人一人を、学校を中心とした地域全体で見守る。

・不登校等を予防し、問題発生の初期対応の質の向上を図るため、保護者・SC・ふれあい相談員・SSWR等関係機関との連携を深める。また、校内子供支援委員会を中心に、組織的な対応と指導の強化に努める。また、予防的な視点に基づいていじめ防止の取り組みを実践する。

・感染症予防の視点に基づいた適切な指導を行うと共に、児童が人権に配慮した発言や行動をとることができるよう、学校全体で取り組みを行う。

 **キャリア教育の指導の重点**

・各教科の授業において、児童の「見通しをもつ力」「自己の変容を振り返る力」「課題への対応力」の向上を図り、全ての教科を通じて社会性や人間関係の構築能力を養う。

・自己理解を深め、自己肯定感が高まる指導を行う。

・各教科の学びを通じてどのような力がつくかという、学びの本質的意義の理解を促進する。また、地域と連携し、働くことの意義の理解を深め、将来設計ができるようにする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 指導内容・指導方法の工夫 | 教育課程編成上の工夫 | 校内研修・評価活動の工夫 | 家庭･地域との連携 |
| 〇問題解決と学び合いを重視した授業・学習課題の明確化・東京ベーシックドリルの活用・反復練習による基礎基本の定着・タブレットの活用・自己の成長を客観的にとらえるメタ認知能力の育成・学びが何につながるかという見通しをもたせる・若手教員育成のためのOJTの実施・全教員間での授業観察の活発化〇算数習熟度別少人数指導、学力向上支援講師と連携〇特別支援教育の推進・個々の成長に照らし合わせた指導法の開発（ユニバーサルデザイン化）・子供支援委員会の活用〇生活科および他教科等と総合的な学習の時間との関連付け・学校農園（青空農園）での体験　　　　 ・年間学習指導計画および評価規準の活用と改善〇ALTの活用 | 〇週毎の指導計画簿にめあて、指導記録や評価の観点の記入を徹底する〇主体的、対話的な学びを喚起し、学びに向かう力を育てるための学力アクションの実施〇各学年で創意工夫し研究授業を実施〇朝学習の時間を設定し教科における基礎的・基本的な学力の定着度の向上を図り、さらなる学力、学習意欲の向上を図る〇読書環境および読書活動の充実、さらに言語活動の充実を図るための読書月間と読書旬間、保護者等による読み聞かせの時間の設定〇北西ギネス等を活用した、密を防ぎながら児童の体力向上につながる体育授業の設計を行う〇職員の事務仕事にかかる負担を軽減したり、時間的余裕を持たせたりすることで教育活動の充実を図る〇オリパラ教育の充実 | 〇校内研究「互いを認め合い、より良い生活を築こうとする児童の育成」（学活）の推進及び分科会ごとの研究授業の実施〇指導力、組織力向上のための、年間15回以上の校内研修の実施〇６年間を見通した全校共通の評価規準、評価方法の設定〇児童に社会的スキルを身に付けさせる実践の講習会・講演会の実施〇個人面談日（4月･11月）〇保護者や地域の方による学校関係者評価の実施と活用 | 〇地域講師の活用〇学校公開・道徳授業地区公開講座(回数と時期は感染防止を最優先として決定する)〇幼保との連携強化・小中一貫教育の推進、学童クラブ、図書館等との交流と連携強化〇学校評議員との連携〇学校保健委員会との連携〇団体スポーツ、地域行事等への協力と支援〇りんごの会にかかわる保護者の協力〇自主性を育てるクラブ活動「金管バンド（課外）」〇構内自然環境の整備と活用（おやじの会の協力）〇学校教育支援センターや練馬子ども家庭支援センター等との連携〇積極的情報発信とHP更新による、学校の「見える化」〇保護者アンケートの有効活用〇いじめ防止サポートチームと連携したいじめ防止の取組〇専科・各種主任による家庭向通信の活発化 |
| 小中一貫教育の視点 |
| 〇校区別協議会協議内容の活用〇近隣小中学校と生活規律や学習規律のスタンダードを共有〇９年間を見通した指導の工夫〇中学校教員による出前授業の取組〇卒業生への学習・生活・進路相談等のアフターフォローの実施 |

　**本　校　の　授　業　改　善　に　向　け　た　視　点**